平成31年3月発行



発刊に寄せて



茅ヶ崎地区工場等緑化推進協議会 会長 田村 久男

春暖の候、時下ますますご清栄の段、お慶び申し上げます。 平素は茅ヶ崎地区工場等緑化推進協議会の事業に際しまして 格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

第51号発刊にあたり、代表してご挨拶させていただきます。

平成30年度は、様々な出来事がありました。史上初の米朝首脳会議が開催され、完全な非核化に向け、議論されたとみられます。またインドネシア地震の津波により、大きな被害が生じました。

国内では、平成最悪となった西日本豪雨の発生や、気温が観測史上最高を記録するなど、 異常気象による災害、相次ぐ地震による大規模災害がありました。

このような気候変動は、自然に深刻な影響を及ぼします。今、我々を取り巻く自然環境は大きく変化しようとしています。多様な生物と共存できるように、自然の豊かさを取り戻すための取り組みを、これからも続けていかねばなりません。

平成31年度が、また新たな前進につながる一年となるように、当協議会の事務担当である茅ヶ崎市景観みどり課と連携を図り、邁進してまいります。

今後とも、皆様のご支援ならびにご協力を賜りますようお願いいたします。

平成30年度総会

平成30年5月18日に、茅ヶ崎市役所本庁舎会議室で平成30年度茅ヶ崎地区工場等緑化推進協議会総会を開催しました。

TOTO株式会社 上原幸作会長の挨拶に始まり、 平成29年度事業報告、収支決算報告、監査報告の説明 があり、承認されました。

引き続き、平成30年度事業計画(別掲)、収支予算、 規約の一部改正、役員の改選の提案があり、原案どおり 承認され、新会長としてトピー工業株式会社 田村久男 氏が選任されました。



平成30年度事業計画

事業名	実施月
役員会	4月、8月
総会	5月
里山等保全事業(清水谷)	4月
里山等保全事業(相模川河畔林)	6月
視察見学会	1 0月
会員事業所見学会・研修会	1 2月
機関誌編集委員会	1月
機関誌「工場にみどりを」発刊	3月
PR のための種子の配布	3月
会員の増強	年間

平成30年度役員

敬称略

役職	企業名	氏名
会長	トピー工業株式会社	田村 久男
副会長	モリタ宮田工業株式会社	鈴野 浩史
副会長	茅ヶ崎市緑化事業協同組合	清水 賢一
会計	TOTO株式会社	上原 幸作
監査	神奈川中央交通株式会社	山岸 浩二
監査	ナストーア株式会社	髙橋 政登
幹事	株式会社オーテックジャパン	高橋 幸宏
幹事	AGCセイミケミカル株式会社	山下 純一
幹事	株式会社タツタ環境分析センター	佐野 翼
幹事	東海カーボン株式会社	宍戸 大樹

私たちの会社 【オーテックジャパン株式会社】

オーテックジャパン株式会社 高橋 幸宏

当社は1986年9月に日産自動車株式会社100%出資の子会社として、地元茅ヶ崎に創業しました。約30年前から、いち早くファクトリーカスタムを本格化させ、量産車とは異なる、個性ある車を提供することで、多くのお客様から支持を得て来ました。

昨年は更なる魅力を提供すべく、社名を冠した新ブランド "AUTECH"を国内に投入しました。また、この茅ヶ崎・湘南の地で事業活動を続けていることを当社の誇りと思い、地域とのつながりを象徴する企業イメージカラーの"レッド"を"湘南ブルー"に一新し、事業を展開しております。





当社は敷地面積33,477㎡、延べ床面積23,427㎡で、約500名の社員が勤務しています。緑地管理は年間計画を策定して、外部の専門会社に委託し進めています。

4月松の緑摘み・芝刈り・除草・害虫の駆除、6月低木・生垣の刈込・芝刈り、7月除草、8月芝刈り、9月害虫の駆除、10月中高木の剪定、11月芝刈り、12月松のもみ上げ、を実施しています。

当社の南側には、記念樹の桜並木があり、毎年4月に新入社員を温かく迎えています。散歩をしている市民の方々からも「桜の花が綺麗に咲いていますね」というお言葉を頂いています。





また、創業30周年を迎えた際に、地域 貢献活動として、市民団体「相模川の河畔 林を育てる会」と協力して環境保全活動を、 5月と10月に社員とその家族総勢50名 が参加して実施しています。

これからも"モノ作り企業"として工場 緑化の推進に積極的に努力することにより、 周辺地域の生活環境の向上につなげていき たいと思います。

里山等保全事業 【清水谷 (しみずやと)】 平成30年4月24日

AGCセイミケミカル株式会社 山下 純一

平成29年度は雨で中止となり、今回も事前は微妙な天気予報でしたが、なんとか曇り空の下で、平成30年度第1回里山等保全事業を清水谷で行うことができました。



今回は会員企業6社より9名、茅ヶ崎市職員2名、「清水谷を愛する会」より6名が参加し、総勢17名で保全事業を行いました。毎年多くの方々が作業をされているとお聞きするのですが、タケにはそんな事情は関係なく、どんどん成長し、新しい芽が顔を出してしまいます。そこで間引き、間伐では古いタケを取り、新しいタケを残して世代交代をさせて、林をつないでいきます。

作業自体は2時間程度ですが、私だけでも約20本の古タケを倒したので、参加者の合計でざっと300本程度を間引くことができたでしょうか。あっという間のひと時でした。

そして山を下る際には、これまでの保全事業の成果が実った話として、清水谷を愛する会の方々に、清水谷内で生育する花を紹介していただきました。



動植物、菌類による無数の共生関係が、里山にはあると 思います。それらの無数の共生が複雑に絡み合い、壮大な 生態系を形作っていると考えると、人間が理屈で説くのは 恥ずかしいものですね。人間がいなければ、自然はその偉 大な仕組みで、過去から未来へと引き継がれていくはずな のですが、その仕組み、自然を壊してしまっているのは、 人間です。



なので竹林の間引き、間伐作業により林の 新陳代謝を促すことで里山共生の仕組みに加 わり未来につなげる一役になれるよう、微力 ではありますが、今後も鋸を引く保全事業に 参加していこうと思います。

東海カーボン株式会社 宍戸 大樹

6月29日に平成30年度第2回里山等保全事業が相模川河畔林にて開催されました。 梅雨時期で当日の天気も心配されておりましたが、会員全員の里山等保全事業に参加する ぞ!という熱い気持ちが梅雨空を吹き飛ばし、快晴となりました。

現地で「相模川の河畔林を育てる会」の皆様と合流 しました。今回の里山等保全事業の主目的は、河畔林 に生い茂っている外来植物の除去と、草木に絡まって いるツタの除去です。初めに説明を受け、参加者全員 で注意事項ならびに安全確認を行なった上で、作業を 開始しました。





昨年に比べて、刈払機を持参する会員が増え、 作業効率は大幅にアップしておりました。私も、 株式会社オーテックジャパン殿から刈払機を拝 借し、一網打尽に除去してやる!と意気込むも、 ツタがカッターに絡まり悪戦苦闘する場面も 多々ありました。刈払機という文明の利器も自然 の前では無力なのか?と、つまらない自問自答を 繰り返しながら、作業を続けました。皆様が黙々 と作業する姿を見て、折れそうな心を奮い立たせ ておりました。

参加者全員が暑さにも負けず、作業終了時刻まで頑張ったおかげで景色は一変しました。

作業開始前は、外来種やツタが覆い被さって樹木がはっきりと見えませんでしたが、作業終了後ははっきりと見えてきました。雑然とした景色から見渡しが良くなり、心地良い風を感じられるほどになりました。

これからも里山等保全事業に積極的に参加し、 市内のみどりの保全に協力するとともに、事業を 通じて得たものを、当協議会の主目的である工場 緑化の推進に活かしていければと思います。



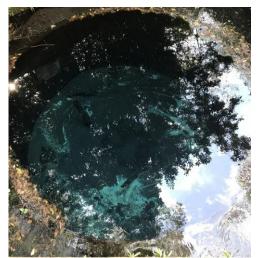
視察見学会 柿田川公園/丸富製紙株式会社 沼津工場

平成30年10月17日

東洋アルミニウム株式会社 湘南矢畑製造所 高橋 陽子

10月17日に、「茅ヶ崎地区相模川をきれいにする協議会」と、静岡県駿東郡清水町にある柿田川公園と、同県沼津市にある丸富製紙株式会社沼津工場を見学してきました。

柿田川公園は清水町の国道 1 号沿いにあり、バスの車窓からでは、あまり自然を感じられませんでしたが、一歩入ると周辺の景色とは異なる、自然に満ちた森と湧き水が特徴の



公園でした。柿田川(狩野川水系の一級河川)の保全を目的とし、整備されて作られた公園ということで川を囲うように、みどり豊かな素晴らしい景色がそこにあります。

人間により外来種が持ち込まれるなど、園内の環境保全はとても大変で、年 2 回清掃駆除をボランティアの手を借りながら実施しているそうです。

柿田川の湧き間(水の湧き出している場所)では、富士山の上流に降った雪や雨が地下水となり、湧き上がります。 第1展望台、第2展望台と多数の湧き間を間近で見ることができました。かつては、この湧き水を紡績工場が井戸水として利用していたそうです。

柿田川は、四万十川(高知県)、長良川(岐阜県)と並ぶ、日本三大清流であり、名水百選にも選定され、国指定 天然記念物であると初めて知りました。



丸富製紙株式会社には、年に5~6千人もの工場見学客が訪れるそうで、9工場ある内のひとつである沼津工場で、トイレットペーパーの製造工程を見学させて頂きました。



沼津工場では、牛乳パックなどを再利用した トイレットペーパーを製造していました。木を 切って新たに紙とするよりも、森林保全やごみ の減量に貢献しています。最近では、紙容器の 変化などの要因で、原料減少となり再利用には 苦労されているそうです。

「再生トイレットペーパーを購入する。こんな身近なことから環境にやさしい取り組みができるのだなあ」と思いながら帰路に着きました。

湘南グリーンコネクション2018 平成30年11月4日

茅ヶ崎市 都市部 景観みどり課

地域のみどりを考える集いとして、 「湘南グリーンコネクション2018」 (主催:公益財団法人かながわトラスト

みどり財団湘南地区推進協議会、共催:茅ヶ崎市) が開催されました。当協議会では、毎年後援を行っ ています。当日は茅ヶ崎市役所分庁舎コミュニティ ホールに、60 名ほどの参加者が集い、生物多様性

について学びました。

「生物多様性緑化の勧め」と題し、明治大学農学部 倉本 宣 教授(茅ヶ崎市みどり審議会委員)による、地域毎の目標植生や生態系を持続させる維持管理方法など、多様な生物が暮らすみどりの作り方・守り方に関する講演がありました。他、かながわのナショナル・トラスト運動の説明や、みどりの実践団体のパネル展示もありました。

事業所見学会 • 研修会

平成30年12月7日

茅ヶ崎市 都市部景観みどり課

今回は、TOTO株式会社茅ヶ崎工場を訪問し、見学会および研修会を実施しました。 研修会では、神奈川県の「生物多様性アドバイザー制度」を活用して、派遣講師である

横浜ゴム株式会社 平塚製造所 旭誠司氏に、企業の活動と 生物多様性について講演いただきました。国内外の生産拠点敷地内に50万本の植樹を行う「YOKOHAMA千年の杜プロジェクト」について、どんぐり集めや土作りなど 社員による自前の杜づくりに関する説明がありました。





研修会後は、TOTO株式会社茅ヶ崎工場敷地内の、R&Dセンター内にある、車椅子などの動線を検証するAスタジオと、昭和と最近の部屋の間取りを比較し検証するリビングラボを見学しました。数段階における幅の調整や動線確認など、車椅子利用者と多様なモニタリング調査を重ね、製品開発に活かしていく様子など、貴重な現場をうかがい知ることのできた見学会でした。